

試験研究（事前）評価整理表

意見整理表1(事前評価)

試験研究機関名 果樹試験場

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	外部評価アドバイザーのコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期		
1	豊かで魅力ある農業の振興	主要品種の栽培特性及び安定生産技術の確立	樹種ごとの危険限界温度の解明と散布型防霜資材の効果確認	主要な栽培品種を対象として、低温の強さや持続時間と花器被害との関連、ひいては各発育ステージの危険限界温度を指標化する。併せて、散布型防霜資材の効果について確認する。	リンゴ、モモ、ニホンナシ、ブドウについて、発育ステージごとに、恒温器や冷蔵庫内にて切り枝及びポット植え樹に低温処理を施し、傷害の発生状況を調査する。併せて、葉面散布剤による低温抵抗性の付与効果を確認する。	平成17	平成19	A	農業は天候に左右され打撃も大きい。天候の不順、台風の通過など、人の力では防ぎようのないと考えられる要素がある。しかし、指をくわえてみているだけでなく、積極的に取り組んでいく姿勢は頼もしい。新品種の開発、発表には多くの時間を有すると数年前にうかがいしましたが、さらに消費者にアピールできる作物の開発に期待するものです。